

経営比較分析表（令和6年度決算）

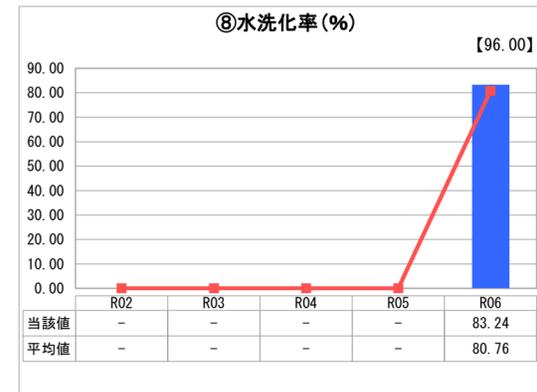
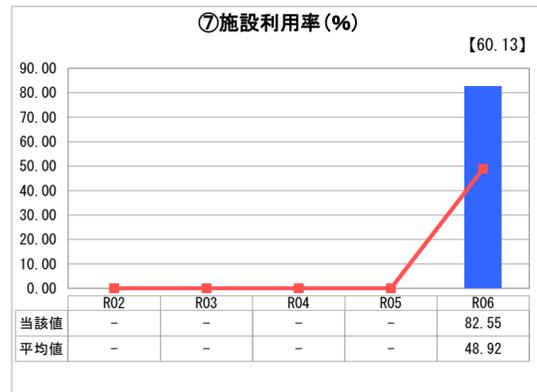
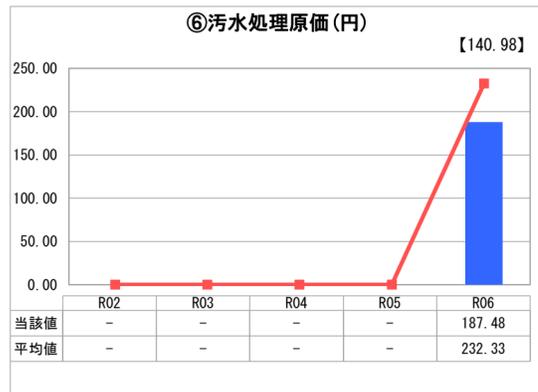
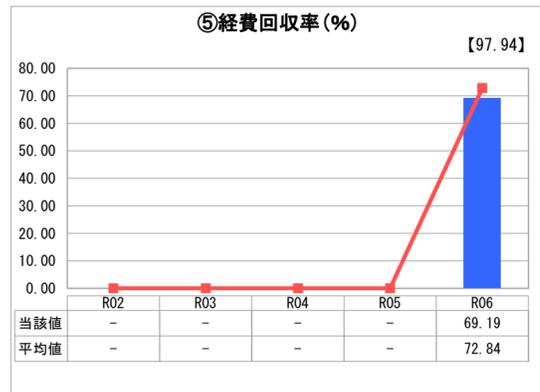
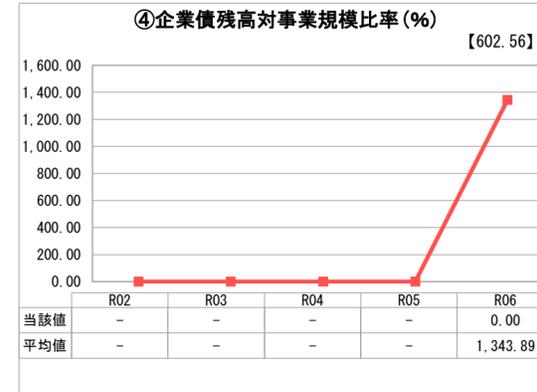
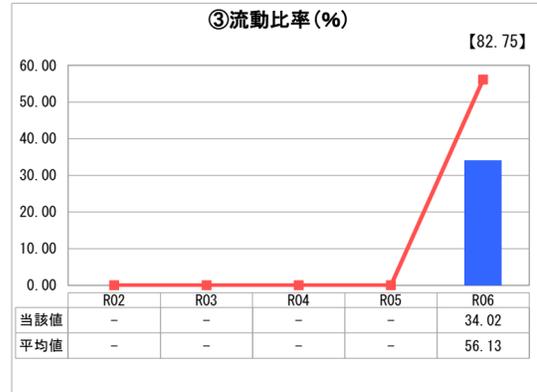
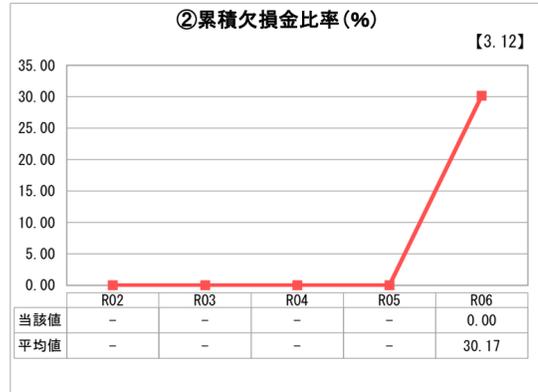
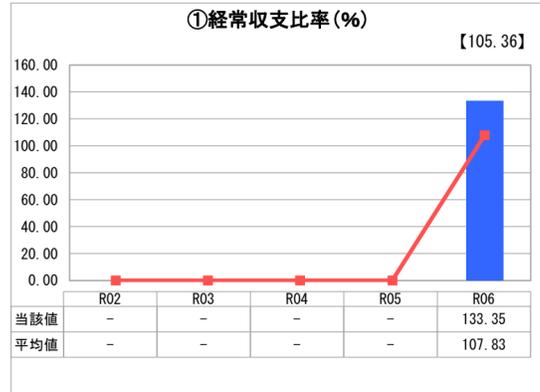
福井県 美浜町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	70.78	61.41	66.44	4,312

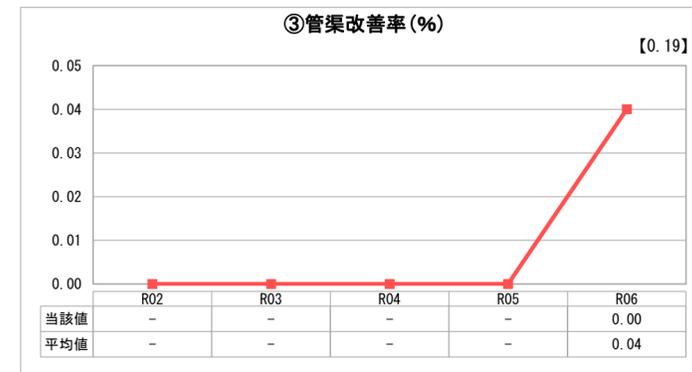
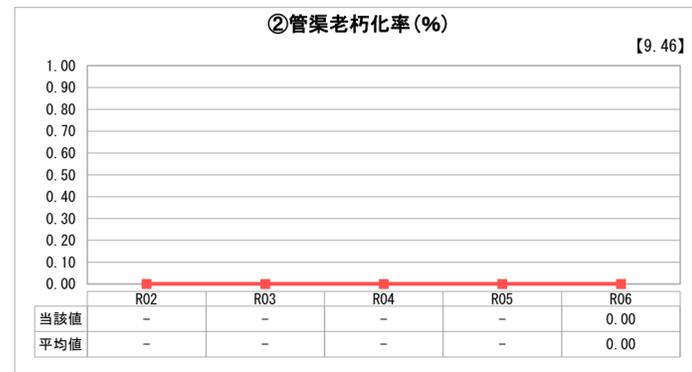
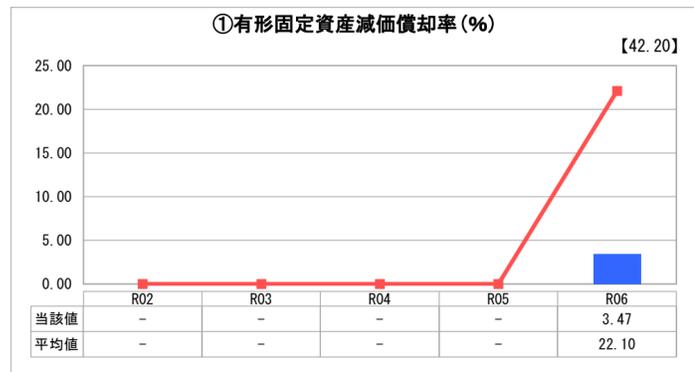
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,676	152.38	56.94
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,298	3.33	1,590.99

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本町の公共下水道事業は、令和6年度から地方公営企業法を適用しており初年度の決算となった。

①経常収支比率は類似団体平均を下回っているものの100%を超えており、黒字であることを示している。しかし、⑤経費回収率は100%に達しておらず、他会計からの補助金等に依存している状態である。一方で、⑥汚水処理原価は類似団体と比べ低いため、維持管理費削減による汚水処理費の抑制を引き続き行っていく。

②累積欠損金比率は0であり、累積欠損金を有していないことを示している。今後も引き続き黒字経営に努めていく。しかし、④企業債残高対事業規模比率企業債も0でありながら③流動比率は低い水準となっており、一年以内に支払うべき負債に対する原資が資産だけで賄い切れていないことがわかる。投資規模は適切か、使用料水準は適切かを都度判断し、経営体質と財務体質の両面から改善を行っていく。

⑦施設利用率は、平均値よりも高い状態であり、施設を効率的に利用できているが、今後、人口減少等による使用量の減少が見込まれるため、処理能力を考慮しつつ、維持管理費の削減が進むよう汚水処理を進めていく。

⑧水洗化率は、汚水管の整備が概ね完了し接続も進んでおり、類似団体と同等の数値となっている。さらなる水洗化率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

公共下水道事業は平成元年度から、事業に着手している。供用開始後で古いものは38年が経過しており、管路施設の標準耐用年数50年に対して大きな改修・更新は求められていないと考えられるが、リスクの高い施設に対しては計画的な点検・調査を行い、必要に応じて改築・更新を実施する。

ポンプ施設、処理場施設は、主に機械・電気設備で標準耐用年数(おおむね15~20年程度)を超過する施設が散見されるため、必要に応じて改築・更新を実施する。

本町が策定している下水道事業経営戦略に基づき、計画的に修繕や更新を行い、健全な施設管理に努める必要がある。

全体総括

現在、公共下水道の整備は完了しているが、人口減少等による使用料収入の減少や、施設等の老朽化に伴う更新需要の増大等が大きな課題となっている。

こうした中で、短期的な対策として接続促進の強化、各種コストの削減、中長期的な対策として料金改定による使用料収入の確保はもとより、将来的な施設の更新を見据え、ストックマネジメント計画に基づき、計画的な点検・更新等により適切な維持管理を行いトータルコスト削減に努める必要がある。

一方で、今後想定される人口減少を鑑み、下水道事業経営戦略の改訂も含め、効率的な下水道整備を進めていくことが重要である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。